

平成 17 年度当初予算 施策別概要

4 3 1 環境経営の推進

43101 自主的な環境保全活動の促進（環境森林部）

43102 多様な連携による環境経営の推進

（主担当部局：環境森林部）

（環境森林部）

< 施策の目的 >

（対象）事業者が

（意図）環境経営を経営方針に位置づけ、環境と経済が両立する持続可能な資源循環型社会づくりを進めている

< 施策の数値目標 >

| 目 標 項 目 | | H 1 5 年度 | H 1 6 年度 | H 1 7 年度 | H 1 8 年度 |
|-----------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 環境経営実践事業所数（事業所） | 目 標 値 | 855 | 935 | 1,020 | 1,130 |
| | 実績(見込み)値 | 887 | 935 | | |

「ISO14001 または小規模事業所向け EMS を認証取得した事業所数」、「企業環境ネットワーク・みえ会員数」および「みえ・グリーン購入倶楽部会員数」の合計数

< 平成 17 年度に残っている課題 >

循環型社会を創造していくためには、社会経済活動のあらゆる局面で環境への負荷を減らす必要があり、とりわけ、事業者には企業の社会的責任として環境経営に取り組んでいくことが強く求められています。こうした状況の中、県内では事業者の ISO14001 認証取得など自主的な環境活動が進んできましたが、規模や業種・業態を問わず、全ての事業活動において、自主的に環境保全活動に取り組んでいく必要があります。

環境経営に熱心に取り組む事業者の表彰制度を実施するとともに、先進的な取組事例を県内事業者に広く情報提供してきましたが、環境経営を広く普及・定着する仕組みとして、今後も引き続き実施していく必要があります。

企業や行政など多様な協働・連携により、産業廃棄物の資源化や、グリーン購入の普及を一層進める必要があります。

環境を軸にした市町村間の情報交換などネットワーク化を進め、行政における環境経営の取組を推進する必要があります。

< 平成 17 年度の施策の取組方向 >

事業者の自主的な環境負荷削減活動を促進するため、小規模事業所向け EMS の制度の普及を図ります。

環境経営に熱心に取り組む事業所等を表彰する制度を実施するとともに、表彰制度によって得られる人材・技術のネットワークを活用し、環境経営サロンの開催を通して先進事例などを県内事業者へ提供することにより、県内事業者の環境経営の取組を支援します。

「企業環境ネットワーク・みえ」や「みえ・グリーン購入倶楽部」との協働・連携により、廃棄物の再資源化や地域におけるグリーン購入の普及に取り組めます。

ISO14001 を軸とした市町村や県とのネットワーク化による情報交換等を行い、行政における

環境経営の取組を促進します。

<主な事業>

(重) 小規模事業所向けEMS導入事業【43101 自主的な環境保全活動の促進】

当初予算額： 5,250千円 9,551千円

事業概要：県内事業者の9割を占める小規模事業者等にとって費用負担の少ない三重県版小規模事業所向けEMS(M-EMS)の制度普及を図り、県内事業所の環境経営の取組を促進します。

市町村 IS014001 ネットワーク化推進事業【43101 自主的な環境保全活動の促進】

当初予算額： 5,434千円 2,820千円

事業概要：市町村行政における環境マネジメントシステムの効果的な活用にあ資するため、学識経験者等による検討会を開催するとともに、市町村合併によるシステム統合に向けた勉強会などを実施します。

環境経営大賞運営事業【43102 多様な連携による環境経営の推進】

当初予算額： 7,980千円 9,517千円

事業概要：環境経営に熱心に取り組む事業活動を掘り起こし、評価し広く情報共有する仕組みづくりを進めるための表彰事業を実施します。

環境経営サロン交流事業【43102 多様な連携による環境経営の推進】

当初予算額： 3,583千円 1,967千円

事業概要：表彰事業を通して構築した環境に関するネットワークを活用して、県内の事業者先進的な環境取組に関する情報を提供し、県内事業者の環境経営取組を促進します。

企業環境ネットワーク支援事業【43102 多様な連携による環境経営の推進】

当初予算額： 3,585千円 3,445千円

事業概要：企業間連携による産業廃棄物の資源化などを促進するため、産業廃棄物情報交換ネットの充実と、環境技術指導員による企業へのアドバイス等を実施します。